



高取小通信 11月号

令和 2年 11月 4日
福岡市立高取小学校
校長 斉藤 典弘

11月です。

空を見上げると、うろこ雲が校舎の上の秋の空に広がっていました。今年も残り2か月となりました。コロナ禍のもと増築工事も重なって学校生活もスムーズに進めるというところまでには十分に至っていません。しかし、そのような中でも子どもたちは、できることを精一杯やりながら、学校生活を充実させていこうと先生たちと一緒に頑張っているところです。今月もご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



修学旅行に行ってきました



先週10月30日・31日の二日間で6年生の修学旅行に付き添って行きました。今年の修学旅行は、以前にもお知らせしたとおり、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、訪問先を変更しました。

一日目は、朝倉地域を中心に行ってきました。筑前町の大刀洗平和記念館では、戦時中はここに陸軍飛行学校があり、多くの卒業生が特攻隊員として戦争の犠牲になったことや大刀洗空襲で多くの子どもたちが犠牲になったことなど辛い面を知り、改めて平和の大切さを感じる時間となりました。

また、サンライズ杷木で行われた九州北部豪雨災害に関する学習では、朝倉市一帯が想像を絶する水害に遭い、多くのダメージを受けたことや多くの人々の力を支えにそこから立ち直っている様子についてスライドや動画を通して学びました。さらに、学年集会も開かれ、大縄大会やクイズ大会で盛り上がりました。宿舎となったパーレンス小野屋では、ちょうどブルームーン(同じ月に満月が2回みられる現象)の前日でもあり、星空観察を実施しました。月や星がくっきりと見られ、温泉にもゆっくりと浸かり、心地よい時間も過ごしました。

2日目は、グリーンランドで旅の締めくくりをしました。屋外の絶叫マシンや遊具、買い物など子どもたちが事前の計画を基本に自分たちのペースでまわっていました。帰りのバスでは、前夜はあまり寝ていなかったのか、それともグリーンランドで疲れたのか多くの子どもたちが爆睡する姿が見られました。お家に帰ってきてどんな感想を語ってくれたでしょうか。みんな無事に帰って来ることができて、ホッとしています。



災害学習の様子

秋みつけ

さわやかな風が吹き抜け、心地よい日差しの中、1年生の秋みつけたんけんについていきました。祖原山までの20分間は、1年生の子どもたちにとっては、期待が高まった、うきうき楽しい時間ではなかったかなと思います。落ち葉やドングリなどを見つけ、色の変化や量の変化などから夏から秋に季節が変わってきたことを実感していきます。

公園では、思い思いに見て回り、バッタを見つけた子どもたちが元気に追いかけたり、見つけた葉の大きさに驚いたり、珍しい木の実に興味を持って眺めたりしながら楽しく学習を進めていきました。



先生の話を聴く1年生

高取焼作陶体験



作陶指導をする味楽先生

今年度も5年生は、高取焼窯元第15代亀井味楽先生より高取焼の指導を受けました。当初コロナ禍の影響で実施も危ぶまれていましたが、オンラインを活用したかたちで味楽先生のご指導の様子を各教室へ配信し、学習を行いました。思ったよりもスムーズにいき、今後



オンラインの画面を見つめる様子

このような形態での作陶体験になるかもしれません。子どもたちは粘土を練って作品をつくりましたが、その後の焼きや仕上げについては窯元の方で全ておこなっていただきます。とてもありがたいことです。できあがりを楽しみます。

11月の主な予定行事 (学年によっては、行事の変更もあります。各学年の便り等で再度ご確認ください)

日:曜日	予定行事	日:曜日	予定行事
2:月	安全の日	12:木	耳鼻科検診 ICTサポーター
3:火	文化の日で休み	18:水	PTA保健委員会トイレ清掃 委員会活動
4:水	放送朝会 心電図(1年生)	19:金	ICTサポーター
5:木	耳鼻科検診 ICTサポーター	23:月	勤労感謝の日で休み
9:月	ICTサポーター	25:水	就学時健診

高取小学校のみんなが一年間でできるようになりましょう!

- 自分と友だちを大切にしよう
- 本気で学習しよう
- 学校生活のきまりを守ろう

